

講義コード	5100001801
講義名	地域課題研究
開講期	2022年度後期
単位数	1単位
授業形態	講義
担当教員	市原 俊、松永 はるな
ナンバリングコード	EA1102

講義概要	私たちは、地域社会の中で様々な人と関わりながら生活をしています。この講座は名古屋市西区の特徴や課題を通して地域活動および地域との関わり方について学びます。また、地域の様々なデータからその地域の特徴や課題を的確に読み取り、解決策や新しい提案を考える力の習得を目指します。
到達目標	1) 地域の特徴や問題を把握し、論じることができる。 2) 地域の様々のデータを適切に分析し、それについて説明することができる。 3) 自身の地域社会との関わりについて述べるることができる。 4) 地域活動に参加する意欲、社会的マナー、コミュニケーション能力を身につけている。
学位授与方針との関連	4. 栄養士として他者との良好な関係を図ることのできるコミュニケーション能力を身につける 5. 社会人として必要な教養を身につける
授業計画	
第1回	この講座の目的・意義 本学が立地する名古屋市および西区の特徴と課題
第2回	地域活動実践者より学ぶ～地域社会の多様な文化活動～
第3回	地域活動実践者より学ぶ～西区の産業の現状～ 地域への提案①（問題点を理解し、提案内容を考える）
第4回	地域活動実践者より学ぶ～西区の福祉・健康活動の現状～ 地域への提案②（提案内容を具体的に計画する）
第5回	データから地域の特徴・課題を読み取る データの要約・分析、統計学の基礎
第6回	データから地域の特徴・課題を読み取る 地域のデータを分析し、地域の特徴や課題を考察し、まとめる
第7回	地域活動実施 活動前のためのオリエンテーション、準備、 グループ毎に地域活動（ボランティア）に参加・実践
第8回	地域活動実施 グループ毎に地域活動（ボランティア）に参加・実践 活動後の後片付け、反省会、レポート作成など
試験	レポート試験
講義進行方法、課題へのフィードバック方法	変則的な時間での講義となります。 講義では、地域実践者から多方面にわたる活動について学び、レポート課題を提出します。 レポート上の質問や提案については担当講師に連絡し、フィードバックします。 また、地域活動（ボランティア）の参加や、地域のデータから地域の特徴や課題を読み取り提案を行うなどの課題レポート作成も予定しています。 積極的な態度で参加してください。 成績発表時にWebClassから授業の講評を公開します。
アクティブラーニング（名古屋）	実習、フィールドワーク
講義前・講義後の自主的学修活動への助言	講義を受講することにより、自分が住む地域に関心を持ち、どのような形で地域活動参加・地域貢献できるのかを考えてください。 授業後はその回に実施した内容をまとめておいてください。 総合学習で学んだ数的データの扱い方等を復習し、実践できるようにしておいて下さい。

		地域活動参加後には、具体的に地域にどのように関わっていけるのか、何ができるのかを考え直し、地域貢献に役立てていってください。		
成績（達成度）評価方法・評価基準、割合		レポートと参加態度によって総合的に評価します。 成績評価 = (レポートの得点90%) + (地域活動への参加態度10%)		
実務家教員				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
使用しない				
参考図書など				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
大学生のためのデータサイエンス (I) オフィシャルスタディノート<改訂版>	滋賀大学データサイエンス学部	一般財団法人日本統計協会	9784822340094	
統計学Iオフィシャルスタディノート<改訂第2版>	日本統計学会	一般財団法人日本統計協会	9784822340421	
統計学IIオフィシャルスタディノート	日本統計学会・日本計量生物学会	一般財団法人日本統計協会	9784822338534	
参考URL				
No	表示名	URL	説明	
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				